

公共用水域水質測定の概要

1 測定機関

- 国土交通省・・・最上川本川など、国が管理する区域での測定
- 県・・・・・・・・最上川の支川や2級河川など、主に県管理区域での測定
- 山形市・・・・・・・・山形市内での測定（水質汚濁防止法の政令市）

2 測定水域

- 河川
 - ・ 最上川や赤川など、本県を代表する河川
 - ・ 市街地を流下する河川など、汚濁が比較的多いと思われる河川
 - ・ 鉱山廃水が流入する河川など、有害物質が検出されるおそれのある河川
- 湖沼
 - ・ 水道水源になっているダム貯水池など
- 海域
 - ・ 沿岸域及び酒田港

3 河川の測定地点

- ・ 最上川、赤川の本川は、全体を把握できるよう、主要な支川の流入後など複数の地点で測定
- ・ 最上川、赤川の支川や2級河川では、全体を把握する地点、または、最上川への影響を把握できる地点として、最下流の地点（最上川への合流点など）で測定
- ・ そのほか、利水状況などを考慮して、一部の河川では上流の地点でも測定

4 測定項目

- ・ 水質測定計画に記載の物質の中から、各水域の利用目的等に応じて選定
- ・ 最上川本川などでは、実態を把握するため、全項目を測定
- ・ 中小河川では、流域の実態に合わせて測定項目を選定
（市街地を流下する河川などではBODなどの生活環境項目、有害物質を使用する工場等からの排水が流入する河川は当該有害物質を測定）

平成30年度公共用水域水質測定計画の概要

1 測定地点

水 域 名		河川数等		測定地点数			
				国土交通省	山形県	山形市	計
河川	最上川本川	1(1)	58(58)河川	8(8)	2(2)	—	10(10)
	最上川支川	38(38)		7(7)	30(30)	9(9)	46(46)
	赤川本川	1(1)		3(3)	—	—	3(3)
	赤川支川	4(4)		—	4(4)	—	4(4)
	その他河川	14(14)		—	14(14)	—	14(14)
湖 沼		9(9)湖沼		4(4)	4(4)	1(1)	9(9)
海域	酒田港	1(1)	2(2)海域	—	10(10)	—	10(10)
	日本海沿岸	1(1)		—	8(8)	—	8(8)
合 計		69(69)		22(22)	72(72)	10(10)	104(104)

() 内は、平成29年度測定計画の数

2 前年度からの変更点

(1) 以下の水域について、特殊項目の測定深度を変更する。

水域名	測定地点名	測定項目	頻度	測定深度	変更の理由
酒田港	No. 5	鉄 (溶解性) マンガン (溶解性)	年2回	表層→中層	水域全体の傾向を監視する観点から表層で測定を行ってきたが、発生源が底質であり、より検出されるおそれの高い中層に変更する。

(2) 以下の水域について、有害物質等の検出状況に合わせて測定項目を廃止する。

水域名	測定地点名	測定項目	廃止の理由
水窪ダム 貯水池	ダムサイト	カドミウム、全シアン、鉛、六価クロム、砒素、総水銀、PCB、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、1,3-ジクロロプロペン、チウラム、シマジン、チオベンカルブ の13項目 (※ 硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素については、引き続き測定を行う。)	平成11年度から測定しているが、これまでの18年間、全て不検出のため。